

そらこめ通信 No.49 2014.08発行

日頃より弊社のコメをお買い上げいただき誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。このところ(7月下旬ですが)北海道らしいスカッとした晴天が続いていて、農作物は概ね順調に生育しています。水稻は平年と比較しておよそ1週間ほど早いようで、地域によっては9月を待たずに刈入れを始める農家が出てくるのでは…と噂されるほど。札幌などの都市部ではビアガーデンが大盛況の由。暑気払いに一度繰り出したいものです。

さて、弊社では6月の畦畔の草刈に続き、7月も環境整備などに追われました。田植えが終わった後、稲刈りまでの期間は雑用(と言っても作業の中身は決して軽くなく、全てに意味があり重要な作業ばかり)が山積した状態です。作業の内容によっては限りなく土木工事に近いものもあります。当然、土木の経験や知識が必要な場面が幾度となく訪れるわけで、それらを観察していると、何となくですが農業と建設業の類似性を感じるどころです。

これからの建設業、特に地方においては維持工事が中心になると言われています。スクラップ&ビルドがしばらく続くと思われる都会とは違い、地方では急激に進む過疎化の中で、過去に作り上げた社会資本をどうやって維持するかが重点課題。幾度かブログなどにも書きましたが、農業用水路や農業用ダムなども重要な社会資本であることに変わりありません。道路や河川だけでなく、これら農業施設を維持することも国民の食(=命)を守るという意味においては同じこと。農業を続けるという事は、農地を維持することであり、農業施設を維持することです。昔から世界の国々は農政を最も重視してきました。し、「農」を軽んじる国があるとするなら、その国はかなり危うい。少なくとも自分はそう思います。



水神宮祭(7月4日)



農道整備 使っていない水路を埋めて新たに農道を作る作業(7月7日)



この水路を埋め直す



新たに農道が出来上がりました



代かきロータリーの修理(7月14日)



倉庫の裏側の整備



一輪車で砂を運び、丁寧に敷均した後にコンクリート版を敷きます(7月14日)



この場所は、秋になると乾燥機の排風ダストから出るゴミがたまる場所。機械でゴミをさらい易いように工夫しました(7月14日)



「ななつぼし」が開花(7月14日)



圃場には早くもトンボの姿が・・・(7月14日)



コスモスの種まき(7月22日)



シネシス系「リリーダイヤモンド」の出荷作業(7月22日)



緑肥として燕麦の鋤き込み(7月22日)



ダリアの摘心仕立て作業(7月23日)



コスモスが芽を出しました(7月24日)

弊社は水稻栽培のほかに花卉の栽培も行っています。主な栽培品目としては、ダリアとシネシスですが、今年から新たにコスモスも始めました。花卉において最も産出額が多い県は愛知県だそうです。少し古いデータですが、2009年の統計では北海道の花卉産出額は157億円で全国8位とのこと。産出額そのものは経済の低迷期もあり全国的に下落傾向なのだとか。皆さん、たまには花を愛でてみませんか。花は心の栄養です。

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしく願っています。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です